

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）は、国語での修飾語に関する設問、算数での三角形の面積を求める設問等、基礎的な知識・技能を求められる設問の多くが全国平均を上回る正答率でした。本校では朝学習の時間に基礎基本を復習する時間を設定したり、漢字と計算についての全校テストを毎学期行ったり、復習する単元を自分で選んで学習する「算数チャレンジ」の取組を行ったりと、基礎基本を徹底する取組を継続してきました。それらの学習活動を通じて培った力が結果に表れてきたものと思います。また、目的や意図に応じて話したり、解き方の説明をしたりする設問についても全国平均を上回る正答率でした。日々の授業において、ペアを作って説明をし合ったり、ボードに自分の考えを整理して書いて説明をしたり、調べたことをプレゼンテーションソフトを用いてまとめて発表したりと、まとめたり伝えたりする学習を繰り返してきた成果だと思っています。今後も取組を続けていきたいと考えています。

質問紙調査の結果から、「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」という設問で「そう思う」と答えた割合が高い傾向が見られました。これは、「笑顔とありがどうのあふれる五城の子ども」という学校教育目標を基に、学校と家庭、地域の方々が一体となって前向きな言葉をかけている取組が結果に反映されたものと思われる。

課題と対応

算数では、複数の図形を組み合わせた図形の面積の求め方を説明する設問において、正答率が低く課題が見られました。そこで、課題を解決する際には解き方を覚えるのではなく、解決する方法を考えることを重視させたり、複数の解決方法を考えさせるようにしたりする等、問題解決能力や思考力・表現力を育てることを目指した授業づくりを進めていきたいと考えます。

質問紙調査の結果からは、メディアの使い方についての約束を守るという値が低かったり、メディアに触れる時間が長かったりという傾向が見られました。また、読書時間が短い傾向も見られます。中学校区の取組である「メディアコントロール」や、「みんなで読書」等、生活状況の改善につながるような取組をさらに重視できるよう考えていきます。

【保護者・学区の方へのお願い】

ご家庭や地域の方々の支えがあり、自分のよさを認め、楽しく生活していることが分かります。また、全国学調の結果から地域の行事に参加している児童が多いことが分かりました。しかし、読書時間が減少していたり、土日の学習時間が少なかったり、メディアとのよい距離間をもって生活できていなかったりする傾向も見られます。より良い生活習慣、学習習慣を確立し、児童の更なる成長や自立につなげるための活動を、学校と家庭とで連携して進めていきたいと考えています。一層のご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	登場人物の行動を叙述に即して読み取ることができる。
	社会	資料から情報を読み取ることができる。
	算数	表や棒グラフを読むことができる。
	理科	動物のすみかが隠れる場所になっていることを説明することができる。
	学習状況	家で、自分で計画を立てて勉強している。
第5学年	国語	材料となる表や図に着目して、話し手として発表する原稿を完成させることができる。
	社会	岡山県の人口と土地の様子を捉え、表現することができる。
	算数	工夫して面積を求めることができる。
	理科	はくちょうぎを理解することができる。
	学習状況	授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと感じている。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	話し合いにふさわしい言葉遣いを理解することに課題がある。	国語については、普段から相手に応じて相応しい話し方をするよう指導し、文章を書く際には文末表現が統一されているかを確認させる指導をしていきたい。 社会については、資料を見て分かったことを自分の言葉でまとめると共に、どう書くと分かりやすいか、表現方法を自分で考えさせる学習をしていきたい。 算数においては、文章を見て立式をしたり、式を見てその意味を考えたりといった、言葉と式との関連付けを重視した学習をしていきたい。 理科では、観察カードを書く際、書くべき事柄や書き方など、自分で考えさせる指導をしていきたい。 自主学習の内容や取り組み方についてさらに検討をするともに、意欲が増す声掛けについて保護者を交えて考えていきたい。
	社会	交通事故にあわないために自分ができることを考え、表現することに課題がある。	
	算数	□を使って立式することに課題がある。	
	理科	観察カードの書き方を身に付けることに課題がある。	
	学習状況	学校の授業時間以外に、家庭学習に費やす時間が短い傾向がある。	
第5学年	国語	接続語の役割について理解することに課題がある。	国語については、接続語等の文法について課題が見られる。朝学習や宿題等を活用し、繰り返し学ぶことができるようにしていきたい。 社会については、複数の資料を見て読み取る力を付けると共に、既習の知識や生活体験などと関連付ける学習に取り組んでいきたい。 算数では発展問題に取り組みながら、解決のために必要な情報を判断し、選択できるようにしたい。 理科においては、実験の際にそろえる条件と変える条件について、考えながら学習することができるようにしていきたい。 メディアとのよりよい関わり方について年間1時間以上授業で取り上げていく。また、各家庭とも相談し合い、使用時間について共に考えていきたい。
	社会	備前焼について、資料を読み取ることに課題がある。	
	算数	数量の関係を式にすることに課題がある。	
	理科	水のしみこみ方について、実験の結果から推測することに課題がある。	
	学習状況	普段、ゲームやインターネットを使用する時間が長い状況が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

五城小の児童は、宿題など与えられた課題に真面目に取り組むことができています。昨年度に比べ、インターネットやゲームなどを使用する時間が増えてきていますので、家庭でのメディアの上手な利用について、子どもたちと一緒にルールについて話し合う機会をつくっていただきたいと思います。また、家庭学習の時間が短いという傾向が見られました。自主学習に進んで取り組むことができるように、ご家庭でもノートにコメントを書く等、前向きな働きかけをしていただきたいと思います。